



SSKP つくしんぼの会報紙

# つくつく通信

“つくしんぼ”はハンディをもつ子どもたちのための放課後活動のスペースです

2001年3月号  
(No. 51)

編集～フリースペース  
つくしんぼ  
町田市小川1511番地  
TEL 042(796)8468

## 五年目の施設長総括のよう なもの

### これまでのこと

つくしんぼのスタートは今から五年程前、私の妻が「息子の放課後の活動場所が欲しい」と言い出したのがきっかけでした。

知り合いや地域の小学校に声をかけ、7、8人？（正確な人数は忘れてます）の寄せ集めの障害児の母親グループとしてスタートしました。

いざ集まってみて一番感じたのは「母親達の弱さ」でした。子ども達の年齢は幼稚園から小学生低学年。障害児の親としてはまだまだ新米で、精神的に不安定な母親達がほとんどでした。

こんなメンバーでは活動がうまく転がらないかも……と感じた私は、早くも方向転換。障害児の放課後はとりあえず二次的として、母親達に元気を出させる活動から始めなければ、と思いました。

そこで掲げたつくしんぼの合言葉が『親の療育、子どもは保育』でした。本当に療育が必要だったのは母親達だったのです。

そんなわけで、つくしんぼは「母親達の井戸端会議のついでに子ども達を連れて来る」という形態で活動を続けてきました。

この頃は、障害児の母親ばかりでなく、健常児の母親達も活動に参加していました。いい意味で地域の交流が出来ていたように思います。職員など雇えるはずもなく、何事も親達で考え

### これからのこと

これからまた三年が経とうとしていきます。気がつけば母親達は、他の施設の方に羨ましがられるほどのパワフル軍団(?)に変貌しております。子ども達もまた着実に成長してきたように思います。五年も経てば、まあ、どんな子

でも少しは成長するものでしょうけど……。今春、卒業生（養護学校高等部）も出ることにになりました。彼は来年度、でんでんむしプラスアルファの方でお世話になります。ただ、五年という間に子ども達の状況は確実に変化してきているのに、つくしんぼの活動内容はほとんど変わっていません。

このままでいいのだろうか？という思いが、次第に私の中で大きくなってきていました。そこで思いついたのが、母親達による「次年度検討委員会」でした。本来ならこの手の会議は職員サイドで行なうべきものなのですが、今年度までの活動を支えてきてくれた職員が二人とも退職のため、結局親達でやるしか方法がありません。

ところが、つくしんぼの母親達は井戸端会議は得意でも話し合いの苦手な集団でした。「で、何を話したらいいの？」

で始まったぐらいですから。いつしか補助金を貰えて当たり前、職員がいて当たり前という状態に慣れてしまっていたとも言えるのかも知れません。

それでもなんとか予算、職員の社会保障、負担金の増額、活動の方向性等々の内容を数回に渡って話し合いました。

話し合いを始めてすぐ、母親達と私の間に想像以上のギャップがあることに気づきました。一番ショックだったのは、私がよく使う「つくしんぼは子ども達の「放課後保障」の場であり、親達の「就労保障」の場ではない」という言葉が、「つくしんぼの活動時間帯には母親達は働いてはならない」と受け取られていた点でした。

一般の保育所や学童保育が「就労保障」の上になり立っている点と比較して「放課後保障」という言葉を強調していたつもりなのに、全然伝わっていませんでした。それだけ話し合いがされていなかったというこの証拠でもあり、施設長としての力不足を痛感しました。

さて、話し合いの成果なのですが……来年度の活動の中にどれだけ活かせるかが鍵となるので、今のところは何も言えません。

ただひとつだけ言えることは、幾つもの行き違いのあったことが確認出来ただけでも、話し合いをした価値はあったように思います。

下さる会へご入会・ご更新  
ありがとうございます

相原様、篠田様、佐治様、長尾様、会田様、曾輪様、外谷様、松浦様、西京様、宮沢様、平井様、上平様、細野様、野村様、川上様、上原様、佐藤様

ボランティア・ご寄付

ありがとうございます  
高尾様、福井様、小林様、川本様、小泉様、長谷様、牧田様、板宮様、荒木様、友井様、松崎様、サイドバイサイド町田ボランティア  
(2月)

### 最後に……

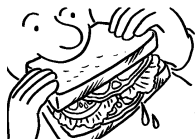
何を隠そう（隠さないけれど）私、話し合いとかミーティングとかが大嫌い。自主性に任せりゃいいと思ってしまっただけで。（横浜ベイスターズの元監督の権藤さんタイプとでも言うのでしょうか）当然、総括なんでものも大嫌いでして。

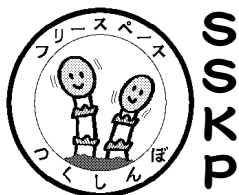
そんな私がなぜ総括のような文章(?)を書いてみる気になったのかと言いますと……。

次年度検討委員会の話し合いの中で、来年度のつくつく通信の編集を母親達主導で進めていくことになりました……。

そんなわけで、私が勝手に作る通信は今月号までになります。五年間おつきあい下さった皆様、どうもご迷惑をおかけしました。そして、本当にありがとうございました。

♪♪つくしんぼ日記♪♪  
2月18日(日) 天気 はれ  
今日は楽しい楽しいパン作り。  
発酵の香らないパン粉をみんなでお  
ツネツネ、クネクネ……。  
チーズやウィンナー、玉ねぎやら  
カスタードなどなど、みんな思い思い  
の具を入れていました。  
さあがは4月からパン工房で働く  
M君、パンに玉ねぎコーンをのせ、  
マヨネーズをかけ、とーっても美味  
しそう。一方、クマさんの形もとっ  
ても可愛く作ったH君、なぜか最後  
までそのパンが食べられませんでした。  
いつもは食  
しん坊なのは何故?  
(父親に似てたか  
らかな???)





# つくつく通信

つくしんぼの活動時間は  
月曜日～金曜日、放課後  
～午後5時までです!!



“つくしんぼ”はハンディをもつ子どもたちのための放課後活動のスペースです

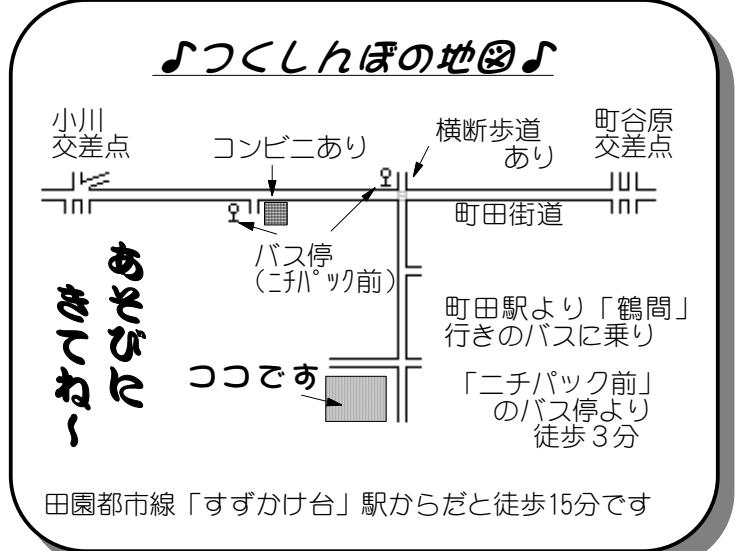


愛する子どもたちへ  
須永 恵

私がつくしんぼに来たのは2年前。短大を卒業してすぐでした。はじめて来たときは、なんて暗い(室内が)ところなんだろう、と感じました。はじめて行った日は、たしか基くんがミニストップのお弁当をおいしいそうに食べていました。そして「お姉さん遊ぼう」とバスケに

さそってくれました。そして1日中やってた気がするナー……。あのころは子どもたちの名前を覚えるのに必死でした。たくさん子どもたちに語りかけていたと思います。そのうち子どもたちの方からどんどん語りかけてくれるようになり、めっちゃめっちゃうれしかった。特にひでおくんが「めるちゃん」と私のことをはじめて呼んでくれた時や、ひろきくんが「めぐちゃん」と呼んでくれたとき……。私はずれいって泣いていました。子ども達の成長ってほんとうに早いなーと思いました。つくしんぼへ初めて来た頃の中也くんなんて、おもちゃばこのものを「ガシャーン!!」と高い所からおとしてみたり、ばたばた走り回ってみたり……。それが今では

とてもおちついて……。自分の居場所を見つけたみたい。思い出すと……。いっぱいいっぱいあるけれど……。なによりも……。子どもたちのために私はなにができたかな……。楽しいこと、うれしいこと……。できたかな……。子どもたちの心の声を聞くことができたかな……。つくしんぼが子どもたちにとってやすらぐ場所だったかな……。私にとっては、つくしんぼの子どもたちが安らぎでした。みんな、ありがとう……。幸せな2年間をありがとう……。



## おかげさまで新職員サンがきまりました

前号のつくつく通信上で「女性職員を探しています」という内容の求人募集記事を掲載させて頂いたところ、私達の予想に反し、本当に多くの方からご連絡を頂くことが出来ました。もしこれで駄目なら、市の広報かハローワークにお願いしなければならない。そうすると4月からの活動にはとても間に合わないな、と思っていただけにホッとしています。(なによりもハローワークに頼んだら「こんな安い給料じゃ問題ありだ!!」って怒られるような気がしていましたし……) 決定までに紆余曲折もありましたが、最終的には現在ベロニカ苑で働いている女性の方をお願いすることにしました。(足立サン、どうもありがとうございました) 4月からはまったく新しい体制で再スタートするつくしんぼです。今後ともよろしくお願ひいたします。

発行所 東京都世田谷区砧6-26-21 障害者団体定期刊行物協定会 定価 50円

**編集後記**  
5年間、全部で51号……。よくまあ一人で勝手気儘に作り続けてきたものですよ。自分(^^; 次号からは、まあ、私も書くでしょうけど、母親達の注文を受けて書かされる、という格好になります。補助金貰うまでの2年間は、本音を言って、とつても面白かったです。毎号毎号市に対して「補助金寄せせ!!」コールを皮肉たっぷりやりましたから。その反応を聞いて一人で苦笑してましたっけ。(^^) 補助金貰えるようになってからは、結構しんどかったです。なんせ、補助金獲得のための営業が目的の通信でしたから、これは「マンネリだぞ」とまでも言われて、そりゃもう悲しいやら情けないやら……。そんなわけで、私自身がメチャクチャ忙しくなることもあるんですけど、通信作りを一度母親達に任せてみる気になりました。どんな紙面になるかは、作って貰ってみないと全然さっぱり分かりません。ただ、ページ数が増えることはないです。だって、紙代の経費が……。(^.^;

「つづくあまさん」の加入会、更新のお願い  
私達は、ハンディを持つ子ども達の放課後活動の場としてフリースペースつくしんぼを九六年五月に開所し、おかげさまで九八年四月より補助金を頂ける団体として認められるに至りました。しかしながら、公的資金だけでは、運営が苦しいのは相変わらずです。そこで皆様にお願ひがございまして、本日に勝手なお願ひで申し訳ないのですが「つくしんぼをささえる会」に入会しては頂けませんでしょうか。会費は年間、一〇二千円です。よろしくお願ひ申し上げます。

郵便振替口座番号 00120-7-168283  
加入者口座名称 フリースペースつくしんぼ